週に一度はNIE〈Newspaper in Education〉

2018.6.29(金) 朝日新聞（夕刊） 1892年3月17

ロシアW杯2018 ロシア大会

日本突破

決勝T ベルギーと対戦へ

負けでいい。守る。終盤、究極の選択

1次リーグH組の日本（世界ランキング61位）は28日、2010年南アフリカ大会以来、2大会ぶり3度目の決勝トーナメント（T）進出を決めた。ポルゴグラードであった最終戦でポーランド（同8位）に0―1で敗れ、通算1勝1敗1分けの勝ち点4でセネガル（同27位）と並んだが、警告数の差で同組2位に入った。今大会のアジア勢では、唯一の16強進出。

日本は前の2試合から先発を6人代えた。勝つか引き分けなら自力での1次リーグ突破が決まる状況だったが、後半14分にフリーキックから失点し、そのまま敗れた。

ただ、H組のもう1試合でコロンビア（同16位）がセネガルに1―0で勝利。日本とセネガルは勝ち点、得失点差、総得点で並んだうえ、直接対決も引き分けという混戦に。今大会からW杯で初めて導入された、警告数や退場数から算出するフェアプレーポイント（FPP）により、警告二つの差でセネガルをかわした。FPPはH組が初適用になった。同組1位は、通算2勝1敗のコロンビアだった。

日本の決勝T1回戦は、2日（日本時間3日午前3時）。史上初の8強入りをかけて、G組1位通過のベルギー（同3位）と対戦する。

後半、武藤と交代でピッチに向かう長谷部（左）に声をかける西野監督＝28日、ロシア・ボルゴグラード、関田航撮影

それは、日本代表が“負け”を受け入れた瞬間だった。

日本が勝つか引き分ければ、自動的に決勝T進出となるポーランド戦は0―1で後半37分を迎えていた。西野朗監督が、3人目の交代カードを切る。送り出したのは攻撃的な選手ではなく、守備的MFの長谷部誠だった。

後半、パスを回す日本＝28日、ロシア・ボルゴグラード、時事

ピッチ上の選手たちへのメッセージを託した。「リスクは冒すな。守備的にバランスを取れ。スコアはこのままでいい。霊長人生で初めての指示を加えた。「不用意なファウルは、避けろ」。

この時点、紙一重でH組2位という状況だった。3位のセネガルとは勝敗や得失点の差はなく、フェアプレーポイントで警告が二つ少ないだけ。どちらの試合も動かなければ、日本が勝ち上がれる。

ピッチの選手に得点は期待できないとみた。35度を超える暑さの中、消耗が激しい。第2戦から先発6人を入れ替え、うち3人がW杯初出場だった。攻撃にちぐはぐさが目立っていた。

1分ごとにセネガル戦のスコアを確認した。「時間が過ぎていくなかで決断を迫られた。完全に他力。監督としては、究極の選択だったかもしれない」。セネガルが同点に追いつけば、すべてが泡と消える賭け。

それに勝った。選手たちは無難にパスをつなぎ、時間をやり過ごした。セネガルもそのまま敗れた。

試合後、会見場の表情は複雑だった。強気の采配を貫いた過去2試合のような張りは無い。「自分の心情としては不本意。選手たちにプレーイングを咎びながらのプレーをさせてしまった」。指揮官の心中をよそに、MF本田圭佑は言った。「結果がすべて。すばらしい采配だった。僕が監督でも、これは出来なかった」。

勝負師、苦渋の一手。選手が理解し、運も手伝って、実った。（清水寿之）

1次リーグの順位決定方法	日本	セネガル
❶勝ち点	4	4
❷得失点差	0	0
❸総得点	4	4
2チーム以上が❸まで並んだ場合は、さらに		
❹当該チームが関わる試合での勝ち点	1	1
❺当該チームが関わる試合での得失点差	0	0
❻当該チームが関わる試合での総得点	2	2
❼フェアプレーポイント（FPP）	-4	-6
❽くじ引き		

FPPの基準：警告＝−1点、警告2回による退場＝−3点、一発退場＝−4点、警告の後に別のプレーで一発退場＝−5点

ロシアW杯 1次リーグ 6.7.8.11面

ポーランド	1―0	日本
コロンビア	1―0	セネガル
ベルギー	1―0	イングランド
チュニジア	2―1	パナマ

NIE No.10 平成30年7月4日(水)実施

年 組 番 氏名

CHECK

1. 日本は、サッカーW杯において2大会ぶり3度目の決勝トーナメント進出を決めました。さて、その決めたリーグ最終戦で、対戦した国は、どこの国でスコアは、何対何でしょうか？

対戦国
得点
対

で、日本は負けました。

2. リーグ最終戦で負けた日本は、今回より導入された、システムによりリーグ2位となりました。さて、そのシステムとは？

3. 後半37分西野朗監督は、3人目の交代で、長谷部選手を選択しました。この交代は、この試合での究極の選択となりました。さて、監督はピッチ上の選手たちへどのようなメッセージを送ったのでしょうか？

4. あなたが監督なら、この状況で、3人目の交代選手に、

守りが得意な選手を選び、このまま負けたまま、他力のリーグ突破を選びますか？
それとも
攻撃が得意な選手を選び、得点をとりに行き引き分けか勝ちで自力でのリーグ突破を選びますか？
理由も簡単に

守り ・ 攻め
理由